

# 平成32年4月開設 甲府工業高校 全日制専攻科



県立甲府工業高等学校 全日制専攻科の完成予想図

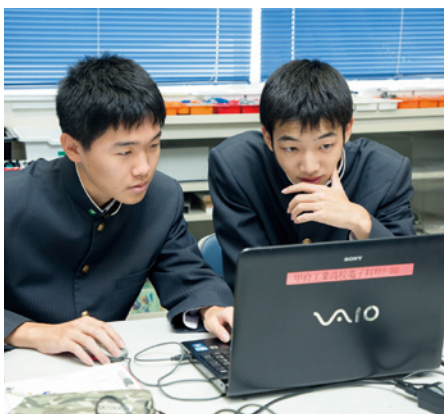
本県の「ものづくり産業」の発展を支える人材を育成するため、県立甲府工業高等学校に機械・電子の高度な専門教育を行う、「工業系」全日制専攻科（2年制）を平成32年4月に開設します。



幅広い分野での活躍が期待できる  
人材を育成する

専攻科とは、高校を卒業した生徒がさらに専門性を高め、高度な知識・技術を身に付けるために設置されるものです。平成32年4月に開設する「県立甲府工業高等学校 全日制専攻科」は、県内初の全日制の専攻科です。コースは「機械系」と「電子系」があり、工業系高校を卒業または卒業見込みで、機械系または電気・電子・情報系に関する科目を25単位以上修得した生徒が受験することができます。

工業系の全日制専攻科を設置する一番の目的は、山梨の基幹産業である機械電子関連の企業で入社直後から即戦力として活躍し、将来のリーダー的な存在となる技術者を輩出することです。今、企業の技術者には、それぞれの専門性だけでなく、各分野にまたがる複合的な知識や技術が求められています。そこで全日制専攻科では、



ロボコンのプログラミングを行う、電子科3年生(上)  
人型ロボット・パルミでAIについて学ぶ、電子科3年生(左)

機械・電子の両分野の知識を身に付けていきます。また、授業で学んだ内容を企業で実習し、経験したことを授業でさらに深めていく「デュアルシステム」を取り入れます。これにより実践的な能力が身に付くと同時に、生徒と

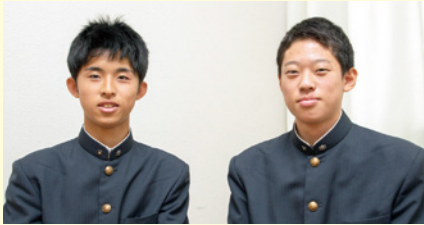




## 発想力と応用力を持つ人材の育成

### 将来は技術者として 山梨の産業に貢献したい

「県内企業を見学し、最先端の設備や技術に接したことで、全日制専攻科に進学したい気持ちが高まりました」(米永さん)  
「技術者である父を目指して勉強しています。山梨には世界に通用する素晴らしい技術を持つ企業があるので、全日制専攻科でさらに高度な専門性を身に付け、山梨のために貢献したいです」(泉さん)



米永 有希さん(機械科2年) 泉 榛太さん(機械科2年)



### 県立甲府工業高等学校

文部科学省指定 スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール(SPH)

甲府工業

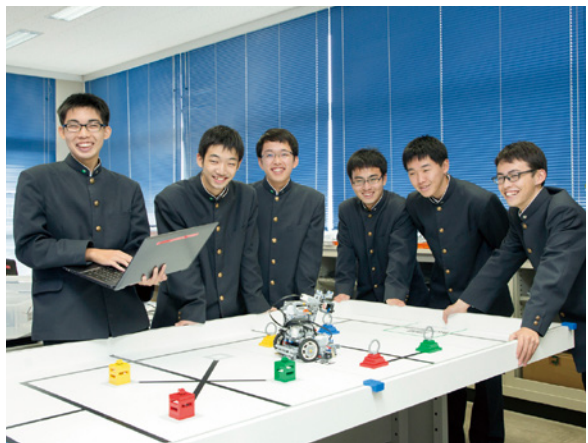
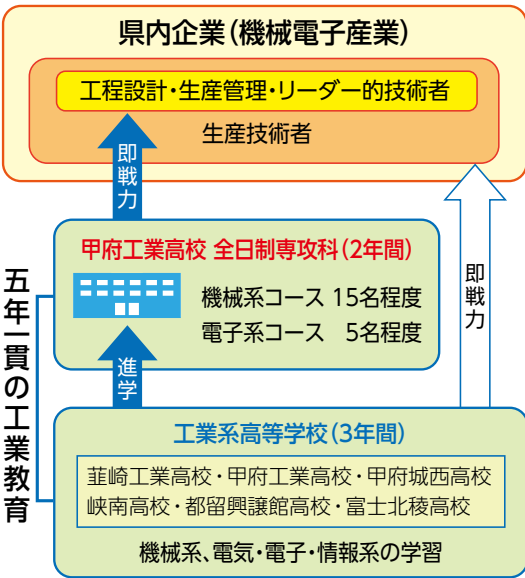
検索

本校は平成29年度より5年間で、文部科学省の指定事業スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール(SPH)の指定校となりました。全日制専攻科を含め5年間の指定を受けたのは、工業系高校では本校が全国初です。本県の基幹産業である機械電子産業を支える人材を育成するため、SPH事業を通して全校体制で複合的、横断的な教育を行っています。まず、本科3年間で科学的根拠に基づいた論理的思考力の育成、高度で実践的な技術力の向上、起業家精神の育成と技術者としての人間教育を行う「先進的技術者」を育てます。また、全日制専攻科では、機械系、電気・電子系の横断的、複合的カリキュラムにより、「機械電子産業界を支えていく」先進的「設計技術者」の育成を行っています。さらに、企業や大学などと連携することで、新たな知識を修得し発想力を高めたり、グループでの協力的な活動により人とのつ

ながりを学んだりすることも大切にしなから、社会のために何が必要かを自ら考える人材を育てていきたいと考えています。SPHの指定を受けたことで、生徒たちは県内外への見学・実習を通じて、最先端の技術や現場を肌で感じながら学びを深めています。社会に出てリーダーとして活躍するには「コミュニケーション能力も重要です。そのために「ものづくり」をテーマにして、全校生徒が一緒に取り組める活動についても、構想を練っているところです。将来、生徒たちには今までにないものを自分で考え生み出し、山梨はもちろん、世界中をものづくりで盛り上げていってほしいと思います。



県立甲府工業高等学校 専攻科・SPH推進部 主任 清水 昌宏 教諭



ロボットコンテストのプログラムの成果を確認する、電子科3年生

企業の両方がお互いをよく知る機会となるため、就職のマッチングにもつながります。2年次には内定企業に実習に行くことで、実際の現場の雰囲気を知り人間関係の構築も図れるので、社会人となる自覚も芽生えます。

また、企業や大学などの第一線で活躍する技術者や教授を講師として招き、最先端の研究や技術を教えるなど、視野を広げる機会をつくることも計画しています。さらに専攻科のカリキュラムは柔軟に設定できるため、毎年授業内容を検証する中で、その時代のトレンドやニーズに合った内容を取り入れていくことが可能です。一方、企業側でも短大卒相当の給与での採用を予定しているなど、専攻科修了生に大きな期待を寄せています。



教諭の指導の下、3Dプリンターで作成する図形CADで自ら設計する、機械科2年生

充実した設備環境の下、最先端の知識・技術を修得する全日制専攻科の開設は、山梨のものづくり産業のさらなる発展につながるものとして期待されます。